

先週まで沖縄に行ってきました。現地では梅雨入り後も殆ど雨が降らず、連日の猛暑で夏の渇水が心配との事でした。このためか蝶の姿は少なく、いてもボロボロという状況でしたが、西表・石垣・本島ともに綺麗な個体が目に付いたのがカワカミシロチョウでした。この蝶は、群れを成して海を渡って来るとも言われていますが、一度見てみたいものです。昨秋発生したというハマヤマトシジミには、探してみましたが会えませんでした。この蝶も飛んで来るのでしょうか？

関東近隣の状況に疎くなりましたが、これからは山地や高原の蝶が良い時期でしょうね。

(総務幹事：田中和夫)

### 【6月例会】

日時：平成27年6月16日(火)(第3火曜日) 午後6:30~8:30

場所：吉祥寺、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室

講演：栗山定氏「あなたはもうご存じかしら？イナズマ類のちょっとした同定ポイント」

NHKの番組作成でご活躍の栗山氏が、特に力を入れて蒐集しているイナズマについて概説していただきます。

伊勢崎眞司氏「道北の蝶、層雲峡から枝幸蝶巡り」

7月にはオホーツクが計画され準備が進んでいますが、北海道に詳しい伊勢崎さんのレポートです。

### 【以降の例会予定】 午後6:30~8:30、

7月18日(土)~19日(日)

夏合宿 立川市八ヶ岳山荘

7月25日(土)(第4土曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：井上孝美氏「ヒサマツミドリシジミの全貌-その1-」

向井氏「カメムシがふるえるのには訳がある：愛を伝える振動コミュニケーション」

8月18日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

### 【連絡事項】

#### 1. 『多摩虫 65号』原稿募集

今年9月発行予定の会誌「多摩虫」65号の原稿を募集します。

過年・今年海外採集に出掛けた方は記録の為にも是非報文(紀行文)等の投稿をお待ち致します。

又、一方、以前からの継続として“飼育雑感”をテーマに飼育に関する知見、及び短報も是非お願い致します。基本的には「虫」に関する記事なら何でも結構です。できるだけ大勢の方の寄稿をお願い致します。但し、他誌面で発表(講演は除く)済みと同一文面・同一内容の投稿はご遠慮ください。

尚、今号からは通常号になりますので、カラーページは巻頭の数ページのみとなりますので了承のうえ投稿願います。寄稿に際し、不明な点がありましたら遠慮無く編集幹事へメールください。

原稿締め切り：[7月31日](#) 原稿送付先：羽鳥信義 (e-mail：[hatori-9294@ac.auone-net.jp](mailto:hatori-9294@ac.auone-net.jp))

(編集幹事：内田 脩太)

## 2. 『2015年夏合宿』 詳細は別紙参照のこと

1. 日時 平成27年7月18日(土)～19日(日)
2. 宿泊地 立川市八ヶ岳山荘  
住所：〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545-1 TEL:0551-48-2309
3. 参加費 1名：1泊2食(夕・朝)・懇親会費含む 当日担当幹事にお支払下さい。  
大人6000円、大学生・高校生5000円、  
小4～中学生3000円、小1～小3 2500円、(小1以下でも朝夕の食事が必要なら2500円)  
往復の交通費(ガソリン代・高速代)は、各車毎に精算。旅行保険は各自で加入してください。
4. 定員 先着40名  
部屋割りの関係上、家族毎に振り分け出来ない場合もありますので、ご承知ください。
5. 申し込み締め切り 6月20日(土)  
但し、定員になり次第締め切りとさせていただきます。  
7月8日(水)以降のキャンセルは出来ません。参加費の全額をお支払下さい。

(企画幹事：北川朝生)

## 3. 「新着交換会誌」

下記の交換会誌が送られてきています。6月例会で回覧します。

尚、今回回覧する図書も貸し出し対象と致しますので、ご活用下さい。

1. 甲州昆虫同好会 月見草便り No. 125
2. 百万石蝶談会 翔 No. 232 No. 233
3. 静岡昆虫同好会 駿河の昆虫 No. 249 No. 250
4. 同上 ちゃつきりむし 183 184

## 4. 「新入会員の紹介」 :

大山 祐佳(オオヤマ ユウカ) : E-Mail: [acherontia.styx9781065@i.softbank.jp](mailto:acherontia.styx9781065@i.softbank.jp)

住所：〒187-0032 東京都小平市小川町1-1126-3

小沢 英之(オザワ ヒデユキ) : 再入会 : E-Mail: [uts2\\_ozawa@yahoo.co.jp](mailto:uts2_ozawa@yahoo.co.jp)

住所：〒157-0067 東京都世田谷区喜多見9-1-27-401

寺 章夫(テラ アキオ) : 再入会 : E-Mail: [terra-aa@gb3.so-net.ne.jp](mailto:terra-aa@gb3.so-net.ne.jp)

住所：〒178-0063 東京都練馬区東大泉6-31-21

## 5. 「2015年度の会費」

2015年度の会費を未納入の方は、急ぎ納入して下さるよう、お願いします。

・会費 一般会員：4,000円、 高校生以下：1,000円

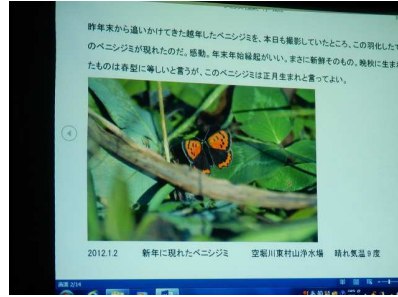
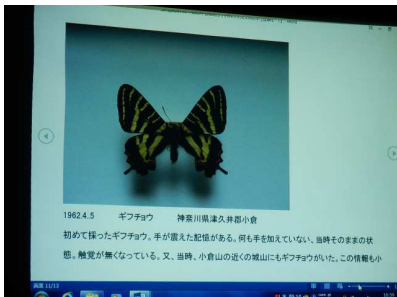
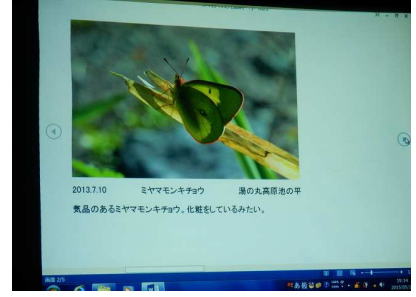
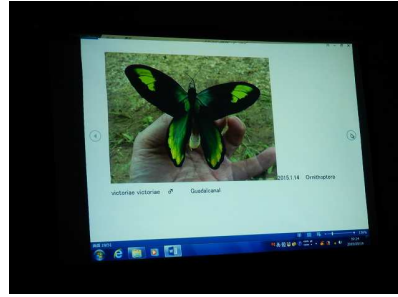
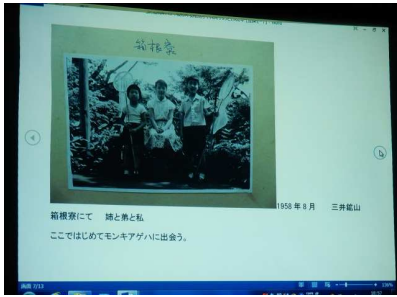
・送金先 ゆうちょ振替口座：00180-0-67713 グループ多摩虫

ゆうちょ口座に送金していただいた場合は、ゆうちょ側で納入記録を送付してくれますので、会計上の記録保持のためには非常に有効です。 会計業務の効率化及び間違いをなくすため、納入はできるだけゆうちょ振替口座をお願いします。

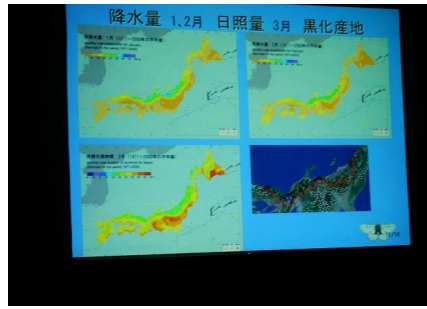
なお、会費未納の方は6月末日をもって退会といたします。

(会計幹事)

前川峻氏「東京都中野区の絶滅前のツマグロキチョウについて」他



寺章夫氏「ウスバシロチョウの楽しみ方」



- まとめ
- 黒化産地は1、2月の降水量200mm以上の地域と概ね一致しているが、必ずしも多量地域とは一致しないところもある。
  - 黒化産地は3月の月間日照量120h以下の地域と概ね一致している。
  - 同じ産地では年毎の降水量の多少と黒化の発生量の間には相関関係があるようだ。
  - 発生の前期から後期にかけて、出現個体の黒化が進む傾向がある。
  - 異代飼育をすると徐々に黒化が進む傾向がある。

ウスバシロチョウのいるところ

横綱	三養	高野	藤	横綱	北海道	奥尻島
大間	愛媛	石塚山	御	横綱	茨城	水戸道
大間	長野	徳沢	免	横綱	青森	白舞坂
大間	滋賀	湖池島		大間	北海道	北志
間瀬	福井	南越前	多	間瀬	北海道	種室
小堀	香川	徳地	島	約	新潟	湯山
約	山口	琴南	小	約	新潟	湯山
約	新潟	佐渡島	崎	約	山形	小島
約	高知	四万十	行	約	東京	甲子
約	京都	奥能	島	約	埼玉	武甲山
約	鳥取	大山	約	約	群馬	赤城山
約	岐阜	徳山	約	約	栃木	高日光
約	岐阜	冠高野	約	約	群馬	湯山

グループ多摩支部会 2015年5月19日 寺 章夫

- 結論
- 雑種F1♂では体毛で純系との識別はある程度可能であることがわかった。しかし、実際には純系にも雑種に紛らわしい個体を選別するのでゲンタリアを見るのが確実である。
  - 雑種F1♀は体毛での識別はきわめて難しく、今回の実験からは不可能であると言わざるをえない。
  - また雑種F1♂のみともに生殖能力はないことが再確認できた。これを利用して、♀の判定は、採卵して無精卵ならば「雑種の可能性は非常に高く」、孵化したら「雑種ではない」と判定できる。

懇親会の風景

前川俊氏



## 「多摩虫」投稿規程

2013年3月17日 制定

2014年3月16日 改定

1. この「多摩虫」投稿規程（以下「本規程」）は、グループ多摩虫（以下「本会」）の機関誌「多摩虫」（以下「多摩虫」）への投稿に関する基本的な準則を定める。
2. 「多摩虫」への投稿者（以下「著者」）はグループ多摩虫の会員に限らないが、本規程に同意することを条件とする。
3. 「多摩虫」に投稿する原稿は、写真、図・表などを含め、著者のオリジナルのものとする。著者・共著者以外の第三者が作成したものを引用または使用するときは、引用の場合は引用部分を区別して表記したうえ出典を明記することとし、引用に当たらない第三者の写真や図表の使用については、その著作権者の承諾をあらかじめ得たものでなければならない。
4. 記事は、写真や図表を含めて3～10頁の採集記、飼育記録、解説、報告、エッセイなどを含む。短報は、写真や図表などを含め1ないし2頁に収まる観察記録などとする。編集幹事が「多摩虫」に相応しくない内容であると判断した原稿は、幹事会で検討し、その結果掲載しない方が好ましいと決議された場合は、著者にその旨連絡したうえ、当該原稿を返却する。
5. 投稿された原稿は、編集・校正作業の際、不適切表記等、著者による手直しをお願いする場合がある。
6. 編集幹事が校正した原稿を著者に送付し、著者校正を経て最終印刷原稿とする。
7. 著者（共著者を含む）は本会に対し、「多摩虫」に掲載される記事について、複製・翻案・公衆送信その他の一切の利用（将来生ずるあらゆる利用方法を含む）を許諾するものとする。たとえば、本会は、当該記事の電子データの作成やHPへの掲載をすることができ、また、増刷、復刻、電子出版など形態のいかんを問わず、「多摩虫」への掲載以降においても、随時、当該記事を追加出版することができるものとする。
8. 投稿者へは投稿件数にかかわらず、当該会誌を下記の通り配布する。
  - ・単独投稿の場合、会員にはプラス1冊（計2冊）、非会員には2冊進呈。
  - ・連名投稿で代表執筆者が会員の場合、代表執筆者にプラス1冊（計2冊）、他連名者が非会員の場合、各人1冊を配布する。
  - ・連名投稿で代表執筆者が非会員の場合、代表執筆者に2冊、他連名者も非会員の場合、各人1冊を配布する。

## 機関誌「多摩虫」への投稿に関する編集幹事からのお願い

1. 原稿は原則として「MS-Word」で作成し、そのファイルを編集幹事宛に、メール、CD-R、USBメモリなどで届けてください。「手書き原稿」の場合は、前もって編集幹事に受け付け可能か否かを問い合わせてください。編集幹事に時間の余裕が無いときには受付られないこともあります。・提出された原稿および記憶媒体は、原則として返却しません。
2. **文章データと図や表のデータは別々のファイルとして送って下さい。**本文中に図や表が挿入されていると、投稿者が設定した条件が不明なうえに、それぞれ異なり、機関誌の統一設定に合わせる際大変手間取りますので、よろしくお願ひします。
3. 文中の**年月日や時刻、頭数、写真番号などの数字**は、一桁でも「**半角**」に、また、**英文文字も「半角」**にしてください。この「半角」文字指定には特に注意して原稿を作成して下さい。これがばらばらだと編集作業が大変煩雑になってしまいます。
4. **学名などイタリック体とする部分には下線を入れてください。**
5. **写真や図表には番号と表題を付け、デジタルデータとして、本文に挿入せずに別に用意してください。**また、本文中にそれらの挿入希望箇所を明記してください（例：写真1. ツマグロヒョウモン.jpg を挿入）。  
・なお、写真は、印刷時にモノクロ写真となる可能性が大きいので、モノクロとなっても判別しやすい構図のカラー写真を選定してください。なお、挿入位置は、印刷時のレイアウト上やむを得ず希望とは別の場所になる場合があります。  
巻頭カラーの掲載については、紙面の関係で必ずしもご希望に添えない場合があります。
6. 写真以外の**図および表**は、**モノクロ**で作成してください。また、エクセルで作成した図表などは、原稿と共にデジタルファイルを送付してください。表は、本文中に文字列として挿入しないで、別にエクセルで作るようお願ひします。
7. **引用文献の記載形式**は以下の例にならってください。

日野隆, 2012. 東京・埼玉のミヤマシジミ. 多摩虫 59 : 42 - 48.

白水隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 568pp., 学習研究社, 東京.

Eliot, J.N., 1969. An analysis of the Eurasian and Australian Neptis (Lepidoptera: Nymphalidae). *Bull. Br. Mus. nat. Hist. (Ent.) Suppl.* (15) : 16.

Heppner, J. B., 1987. Adult behavior of the Taiwan primitive moth *Ogygioses caliginosa* (Lepidoptera, Paraeosetidae). *TyoGa* (38) : 13-15

原稿送り先： 編集幹事宛 (E-mail または郵送宛先)